



“さくらの会”便り

発行責任者	会 長 田中 明
編集責任者	事務局 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

バスで来た集会に行ってきました



5月27日（日）丹後王国「食のみやこ」バス研修交流会をしました。晴天に恵まれ25名（講師含む）の参加でした。

（綾部9人福知山9人現地丹後7人）

午前11時半までは、自由時間。11時半からトングズキッチンにて調理実習交流会を行い、午後1時半から言語聴覚士平野先生の講話「高次脳機能障害と生活」を聴きました。

あと当事者・家族との交流会を行い、困っている事や要望など切実な声が出ました。

今回の交流会において、当事者1名と支援会員2名のさくらの会へ加入されました。当事者と支援会員1名は、丹後地区の会員です。

声 気持ちのいい日

当事者家族（T・K）

あじわいの里と呼ばれていた頃から比べると随分変わりました。

丹後王国になってから初めての入園でした。当日は過ごしやすくてとても気持ちのいい日になりました。

今年のゴールデンウィークに我が家は一日も出かけるこ



とができなかった事もあり、おいしい空気、お腹満腹お肉にリフレッシュできました。

午後の平野先生の研修会では、家庭生活における社会との繋がりについて、普段の生活において、家族とのコミュニケーションが大切で、笑顔がいつも見られるように、気を張らず頑張りすぎない様に、リラックスした気持ちで家族に接していきたいです。

声 美味しかった

当事者（T・Y）

さくらの会の行事にいつもならこちらから出かけて行くことが多かったのですが、今回は「さくらの会」のみなさんにわざわざ丹後まで来てくださるということでとても楽しみにしていました。

以前もここで今日のような食事をしたことがありましたが、家族だけと違い、話もはずみ、食もすみ何倍も楽しかったです。



声 またよろしく願います

当事者 (S・G)

楽しかったです。

また、よろしく願います。



入会いたしました

支援会員 野村俊彰

今回の研修交流会に参加させていただきました京丹後市の野村俊彰と申します。行政に携わった経験を活かし、もう一度原点に立ち返り、自分の力を出せる新たな場面を求めたく、入会いたしました。悩み、立ち止まっている方々の気持ちに寄り添い、お互いの持てる力を引き出しあいながら、いっぱい笑顔でその思いを叶えられるよう努力してまいります。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



学習交流集会を開きます

高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会を開きます。

日時：平成30年7月8日 13時～16時

場所：福知山市総合福祉会館3階

34・35号室

講演 13時～14時50分

「高次脳機能障害者が社会参加につながるために」

講師は、中塚圭子さん

中塚さんはNPO法人大阪脳損傷者サポートセンター理事をされてます。

また、洛陽病院 非常勤・言語聴覚士、花園大学非常勤講師もされています。

交流会 15時～16時

(詳細は、別添チラシを参照にしてください)

編集後記
▼久しぶりのバス交流会で、お天気に恵まれ楽しい一日でした。大勢の参加でバスの中も楽しかった。▼梅雨に入り、紫陽花が色鮮やかです。▼これから、蒸し暑い夏が来ます。熱中症対策を

カラオケ交流会

(日時) 6月24日午後1:30～4:30

(場所) まねきねこ(綾部市大島町)

